

# HARLEM

## SPIT'EM OUT!

09  
Monthly News Page  
September, 2007  
Volume 96 Issue 121

"it's absolutely raw"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

feature interview

## DJ SPIDER from L.A.

L.A.から初来日を果たすDJ SPIDER。AMやMARK RONSONとの競演で磨かれた、間違いないスキルを体感する前に、まずはこのインタビューをチェック!

■まずは自己紹介からお願いします。

僕は、L.A.出身のクラブDJ、リミックス・プロデューサー、そしてMove.meantグループの一員。DJ AMやMARK RONSONは僕の大親友だよ。インターネット・ラジオ番組、TheBassment.comのDJでもあるんだ。

■来日は今回、何回目になりますか?

今回は初めての来日だから、すごくエキサイティングしてるよ!! DJ AMやMARK RONSONから日本は最高だったという話を聞き、写真とかを見せつけられると、『いつかは僕も』って思っていたら、今回HARLEMからこの話が来て本当に感謝しているよ。あと映画でもよく出て来るから、なんとなくどういう所かは想像できるよ。来日する準備万端さ!

■日本の印象を教えてください。

とてもフレンドリーで、進んだ考えを持っていて、情熱的な国だという印象があるな。ここで言う情熱的というのは、ラテン的な情熱さではなくて、音楽、ファッション、あらゆる芸術といったものを100%真剣に取り組み情熱を言っているんだ。10代の頃、僕はヒップホップを真剣に愛していて、おそらく日本には僕と同じ感覚を持っている人が沢山いるんじゃないかなと思うんだ。

■DJ AMやDJ MARK RONSONとツアーを回ったり、一緒にイベントをされていますが、彼らのどういうところが好きですか?

二人とも本当に才能があるアーティストで似ているところもあれば違うところもある。今でも明確に覚えているのは、マイアミのWinter Music Conferenceで一緒にプレイした時かな。二人ともそれぞれの個性でパーティーをクレイジーにしたんだ。二人ともDJセットで新しいことに挑む躊躇や恐怖感を一切持っていなかった。こういうところは僕は尊敬し、DJをするときに思い出するようにしているんだ。特にDJ AMに関しては、DJセットのクリエイティブさやテクニック、クラウドを読み取るスキル、そしてDJの新しいテクノロジーを100%自分のものにするところを尊敬しているんだ。MARK RONSONに関しては、才能の聞き分けができる耳を持つ素晴らしいプロデューサーであるところ、品質を落とさず可能な限りパーティーをロックするところかな。

■彼らは、セレブDJの代名詞であり、あなたも彼らと同じようにそう呼ばれることについてどう思いますか?

彼らと僕の名前が並ぶことだけで僕は感謝しているよ。僕らがDJをするL.A.やNYCのクラブには沢山のセレブリティが集まり、メディアのターゲットにもされるから、こう呼ばれるのだろうと思うけれど、僕が大切にしたいのは、音楽やDJをすることに對する愛情なんだ。だから、DJ AMや僕もDJを続けられるんだ。セレブDJはスキルが無く、人脈のみのスキルしかないとか、どっかのウェブサイトに書いてあったけど、それを読んで本当に悲しくなったよ。確かにそういう事もあるけど、DJ AMやMARK RONSONは同業者であるHIP HOPアーティストからも絶大的に指示されているの知らないだろうね。Q-TIPはMARK RONSONとしかDJをしないと語っているくらいだしね。

■プロデューサーとしても活躍をされていますが、今後はDJとプロデュースの割合はどういう風

にシフトしていく予定ですか?

正直言うと、僕のプロデュース業は、ここ数年ちょっと低迷しているんだ。DJで忙しく、ツアーに出かければなしたからね。

時間を見つけては、リミックスやマッシュアップをしたけれど、ミックステープはリリースし続けていて、Lil JonとやっているRockboxシリーズのVol. 1と2をリリースしたばかりさ。これから、国内ツアーをするつもりなんだ。あとは、僕のグループMove.meantから“The Scope of Things”というアルバムをリリースした。これからもDJもし、どんどん曲をプロデュースしていく予定だよ。

■あなたは、Scratch Live派ですか? それともアナログ派ですか? それは何故ですか?

10年もレコード使いのDJをしてきたから気持ちの上では、アナログ派なんだけれど、今では完全にScratch Live派(笑)。

Scratch Liveを使い始めて2、3年経つけれど、こんなにも楽しい形で僕のDJのクリエイティブさや、僕自身を進歩させるとは思ってもみなかったよ。飛行機の中でプロデュースしたリミックスをその晩にクラブでかけたりできるのは、とてもクールなことだよ。クレーツを持ち運ばなくていいからという安易な考えを持っている人が多いけど、その場でループさせ即興で曲を作れたり、そういうクリエイティブなテクノロジーを使わなくてどうするんだって思うよね。あとは音のクオリティが良くなればバッチリなんだけど(笑)。

■ここ最近ハリウッドや、ラスベガスのクラブが色々な意味で注目されていますが、L.A.出身としてどう思いますか?

ハリウッドは、メディアのターゲットで何が起きているかいつも人からは注目されているし、ラスベガスも距離的に近いからね。ラスベガスのクラブシーンはとても大きくて、ハリウッドには、とてもホットなクラブが密接しているからセレブリティが行き来しやすいという点もあるんじゃないかな。僕のベースはL.A.だから、移動時間が掛からなくてラッキーと思っているよ(笑)。

■海外でプレイしたことはありますか?

その印象は?  
ノルウェーでプレイしたことがあるんだけど、とても楽しかったな。僕がDJをしているときのクラウドの反応の違いとか、似ているところとかを学んだよ。みんな僕のリミックスやDJを楽しんでもらったみたいで僕自身もいい時間を過ごせたよ。アメリカ以外の国に行ける事は本当に幸せだよ。文化も言葉も全く違うし、すごくエキサイティングな事だし、僕は恵まれていると思う。海外に出てよく思うのが、アメリカはあんまり良い国じゃないと思う。ヨーロッパの方が何にでもオープンだし、解放的だよ。特に音楽に関してはね。すごく進んでいる国だと思う。きっと日本もそうじゃないかな。

■あなたにとって音楽とは?

僕の全て。音楽は人の気持ちを揺るがし、僕を色々な世界に連れて行ってきて、インスパイアしてくれるもの。

■もしも今、音楽関係の仕事をしていなかったら、何をしていますか?

Sharpie(アメリカのNo.1ペン・ブランド。セレブやスポーツ選手がサインをするのによく使われ



ている)のライバル会社を創業したと思うよ。

■5年後の自分はどうなっていると思いますか?

5年後もDJをして、リミックスや曲をプロデュースして、尊敬するアーティスト達と働いていると思う。バーやクラブを持ったり、いくつか他のビジネスをしているかな。あとは、自分が行った旅を記したり、映画の脚本を書いたりしているかも。

■9月のパーティーは3都市(東京、大阪、仙台)を回りますが、どういったパーティーにしたいですか? 徹底的にロックするから楽しみにしてて! みんなの手を挙げさせて、頭が天井にぶつかるくらいにロックするよ!

■最後に日本のファンにメッセージを。僕のサポートをありがとう! !!

### DJ SPIDER "BIOGRAPHY"

ロスで生まれ育ったSPIDERは、BPM MagazineとRockstarが共同主催したNext On The Decksコンテストで優勝して以来、2006年マイアミのWinter Music Conferenceで、セレブDJの代名詞であるDJ AMやMark RonsonのオープニングDJとして参加。その後Mark Ronsonにそのスキルを見出され、彼の全国ツアーにも参加した。また世界最大級のインターネットラジオネットワークであるLive365.comにおいて2005年には、ベスト・ヒップホップ賞を受賞した実績を持つ。その他、iRiverとAudioFeastのpodcastを毎週制作するほど精力的に活躍している。

毎週火曜日には、彼が持っているインターネット・ラジオ番組、TheBassment.comにライブ・ミックスショーを行い、彼自身のレーベルであるWax Paper Recordsに所属するヒップホップ・グループ、Move.meantへ楽曲のプロデュースもしている。

その他プロデュース業では、Old Skool Showを含むPOWER 106のラジオ番組のイントロをプロデュースし、MicrosoftのCM、オスカー賞受賞映画CRASH、Joan of Arcadia、Bones、The Real WorldといったメジャーなTV番組、映画の多くの楽曲を提供し、ライセンス権を持っている。

DJ業では、DJ Steve1derとパートナーを組み、Scion Free Up Your Mix 2005で見事2位を獲得。その後、Sprite協賛のArt Beats & Lyricsのフェスティバルで2回ほどプレイし、Las VegasのMAGIC Trade ShowでBongo JeansとMixwellのパーティーでもプレイ済みである。

Pete Rock、KRS-One、Black Sheep、Murs、Lyrics Born、Medusa、Filthee Imagrants、Blackalicious等のアーティストの前座の実績があり、L.A.、San Francisco、San DiegoやColorado等各地からゲストDJとして呼ばれるほど売れっ

子DJでもある。彼のミックス・ショーには彼がこよなく愛する質のいい音楽、センスのあるスクラッチ、芸術やパーティーの神髄が表れている。彼は多くのことを器用に一つの手で成し遂げる才能を持っているのだ。彼が生まれて初めてターンテーブルを手にした1996年以来、スクラッチをし続け、インターネット・ラジオ番組であるTheBassment.comを根気よく続けながら質のいいヒップホップ音楽が誰の耳にも入るよう、また誰も聞いたことがないヒップホップ・アーティストを大勢に紹介できるよう努めてきた。ヒップホップ・グループ、Move.meantメンバーの一人としてJohn Legend、Keisha Cole、Shock G、Myka-9、Trek-Lifeといったアーティスト達とプレイしたりMove.meantのDJとしても活躍し常に音源の新鮮さを保ちながら、彼自身のスタジオBass.meant Studioのエンジニア、プロデューサーとして、StepFamという名義でアーティスト・グループを結成。これからも様々な顔を持ち精力的に音楽活動を続けるであろう。

### "DJ SPIDER'S ALL TIME FAVORITE TOP 3"

- DJs -
  - 1: DJ Q-Bert
  - 2: DJ Stretch Armstrong
  - 3: DJ AM
- MCs -
  - 1: Nas
  - 2: Notorious B.I.G.
  - 3: Q-Tip
- Producer -
  - 1: DJ Premier
  - 2: Jay-Dee a.k.a. J-Dilla
  - 3: Timbaland

